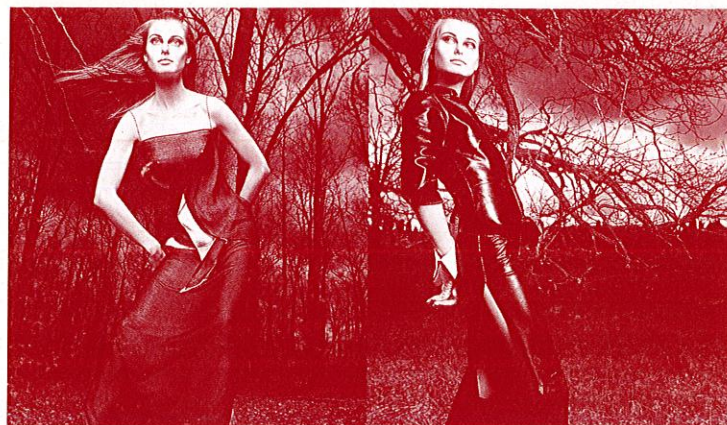
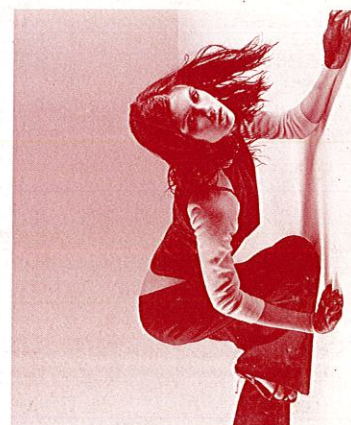


THE 95TH DOSHISHA GLEE CLUB ANNUAL CONCERT



GENNY



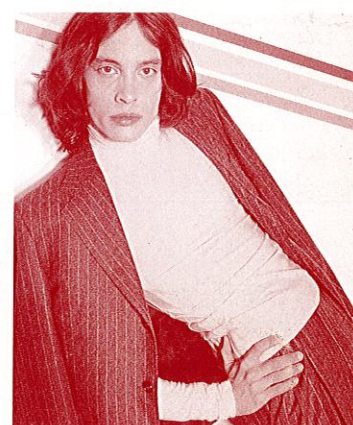
byblos



DOLCE & GABBANA



DOLCE & GABBANA



FENDI



D&G
DOLCE & GABBANA



malo

三崎商事グループ

ジェニージャパン株式会社 ビブロスジャパン株式会社 三崎商事株式会社

代表取締役社長 三崎 政二

東京／東京都江東区有明3-1 TFTビル 東館7F 03-5530-5751 大阪／大阪市中央区南船場4-2-4 日本生命御堂筋ビル5F 06-6251-1171

第95回同志社グリークラブ定期演奏会

1999年12月17日(金) いずみホール

主催：同志社グリークラブ <http://www.donet.gr.jp/~gleeclub/index.html>

第95回 同志社グリークラブ定期演奏会

1999年12月17日(金) いずみホール



御 挨拶

本日はお忙しい中、第95回同志社グリークラブ定期演奏会にお越し下さいまして、誠にありがとうございます。

本年は、上回生32名と数少ないながらも、東西四大学合唱演奏会、同関交歓演奏会では、松原千振先生をお呼びし、小人数ならではの響きのある歌声と洗練されたハーモニーを作り出し、各方面から称賛の声を頂きました。そして人口減少に悩まされる関西学生合唱界において大変誇るべきことに、25名を超える新入生が入部し、非常にクラブが活気付いております。

さて、我が団は予算面、集客面の問題により、長く慣れ親しんできたシンフォニーホールからの撤退を余儀なくされました。しかし部員は誰一人として、これを「後退」とは捉えていません。なぜならばいずみホールという一流の質を維持し、集客面においてもそして今の我が団の歌声においても、「相応」と感じているからです。幾多の困難を乗り越え、伝統＝マンネリから脱却するパワーを得られたことは、これからの同志社グリークラブの方向性を示したと思わずに入られません。

記念すべき創部100周年まで、あと5年と迫りました。部員一同、後世に伝統ある歌声を残すために、日々努力に励んでおります。関西合唱界で広く活躍されている本山秀毅先生をお呼びした本日の演奏会において、演奏そのものによる感動もさることながら、部員個々のクラブづくりに取り組む真摯な姿勢を感じ取って頂ければ、これ以上幸いなことはありません。

最後になりましたが、本日の演奏会はもとより、本年の様々な活動にご協力下さった諸先生、諸先輩方、並びに関係各位の方々に心より御礼申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。

同志社グリークラブ幹事長 西岡 淳



同志社総長
松山 義則



同志社大学長
八田 英二



同志社グリークラブ顧問
岸 基史



同志社グリークラブOB会理事長
岡田 哲

同志社グリークラブがいずみホールにおいて定期演奏会を開催することとなりました。心から嬉しく存じます。

グリークラブは創部依頼95周年を迎える長い歴史をもつ男声合唱団であり、高い評価を受けています。100年に近い歩みのなかで音楽を愛する数多くの人びとが集まり、芸術性と精神性豊かな伝統ある男声合唱団となりました。昨春にはアメリカ演奏旅行を行い、海外の諸大学の合唱団との交流をはじめ活発な演奏活動をすすめています。今夏には、135年前、若き校祖新島襄が函館に赴く海路立ち寄った、津軽海峡を望む風間浦村にその足跡を尋ね、演奏会を催し人びとの感動を呼びました。今夕も音楽を愛し共感する方々が集まられます。そして美しい一ときをお過ごし下さることと存じます。ご来会頂きましたことに厚く感謝申し上げます。

第95回同志社グリークラブ定期演奏会の開催を心からお慶び申し上げます。

同志社グリークラブは今年で創部95年目を迎え、長い歴史と輝かしい伝統を保持し、同志社大学を代表するクラブとして様々な場において活躍しております。東西四大学合唱演奏会、関西六大学合唱演奏会、アメリカ演奏旅行、さらに今夏には、青森演奏旅行（風間浦村）を行い、音楽を通して地域の人々との交流を深め、多くの感動を与えてまいりました。

本日の演奏会におきましても、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、熱のこもったステージを展開してくれることと期待しております。ご来場いただきました皆様に部員の意気込みと情熱が伝われば幸いに存じます。

常日頃より部員の活動を支えてこられた諸先輩ならびに関係者の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、本日の演奏会の成功と同志社グリークラブの益々の発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

今年の4月から、同志社グリークラブに長年ご尽力された澁谷昭彦顧問の後継を仰せつかりました。何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、澁谷前顧問のお言葉を借りるならば、今年は同志社グリーの「創部124周年」そして「命名95周年」ということになります。同志社グリークラブの創設者と伝えられる初代顧問の片桐哲氏は、同志社グリークラブの命名にあたり、「グリークラブの名称には『愉快で元気な合唱クラブ』と言う意味を持っていることに大いに心惹かれ」と述べられました。また、澁谷前顧問はグリークラブのルーツが同志社設立時の開校礼拝にまで遡ることを語り、同志社グリークラブのアイデンティティは何であるかを常に部員に問い続けられました。

部員数の減少という危機的な状況の中、今年は30名弱の新入生が入部しました。今グリークラブは新しいミレニアムに向けて躍動の兆しを見せています。同志社グリークラブの向かうべき方向は、変えていくべきものは、そして守るべき伝統とは、という部員一人一人に対する問いがさらに重みを持ちつつあるように思われてなりません。

いずれにせよ、現役のglee men諸君には、今日の定期演奏会において同志社の建学の精神と若者の力強さ、そして愉快で陽気なgleeful moodを会場一杯に満ち溢れさせてくれることを期待しています。

《55名の君達らしく》

本日、95年目の定期演奏会を持つ同志社グリークラブ55名の諸君に、我々も共に喜びと感謝をもって祝福を送ります。

翌2000年に125周年を迎える同志社にあって、同志社グリークラブはその歴史と共に歩み、伝統を培ってきました。

95年、それは、実に遙かなものです。

今日まで、日々たゆまず積み重ねられた楽譜と歌い継がれた響き。そして、良心たるを自負する「同志社グリースピリット」。そのメンタルなハーモニーを連ねる永い人垣こそ、我々自身への敬意と誇りです。

そうした変わらぬ情熱を持って、日々真摯の55名の歌声が、君達らしい「同志社グリーハーモニー」であることを祈ります。そして、君達らしい感動が一杯に輝くことを祈ります。

国内外、同志社グリーメン1200名のエールを送ります。

Doshisha College Song

作詞：W.M.Vories

作曲：Carl Wilhelm

1st Stage 「J.G.Rheinberger男声合唱作品 ～Missa B-Dur op.172より」

Kyrie

Gloria

Ave Maria

Sanctus

Benedictus

Agnus Dei

作曲：J.G.Rheinberger

指揮：伊東恵司

オルガン：平松寿美

2nd Stage 男声合唱組曲「草野心平の詩から・第三」

I. 原子

II. 地球

III. 猛烈な天

IV. 宇宙線驟雨のなかで

V. 夜の海

作詞：草野心平

作曲：多田武彦

指揮：五十嵐嘉紀

—INTERMISSION—

3rd Stage 「コダーイ男声合唱曲集」

Kit Kéne Elvenni

Esti Dal

Karádi Nóták

作曲：Kodály Zoltán

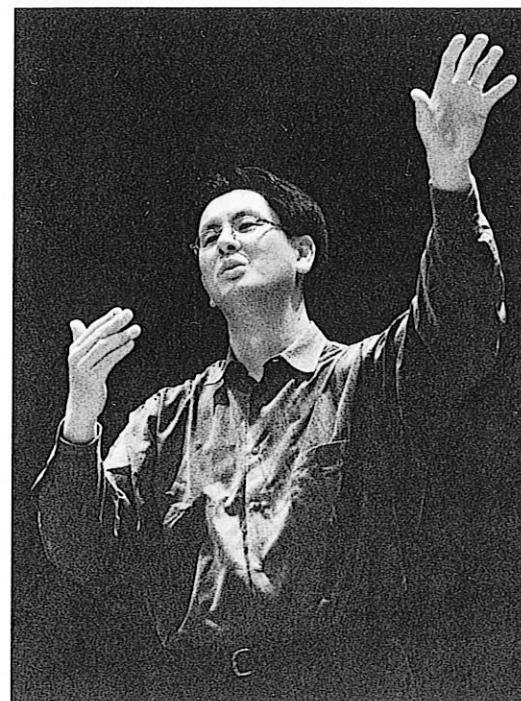
指揮：五十嵐嘉紀

4th Stage 「The Ballad of LITTLE MUSGRAVE and LADY BARNARD」

作曲：Benjamin Britten

指揮：本山秀毅

ピアノ：船橋美穂



客演指揮者

本山秀毅 (もとやま ひでき)

京都市立芸術大学音楽学部卒業。フランクフルト音楽大学合唱指揮科卒業。帰国後はバッハを主とする教会音楽を中心に演奏活動が続ける。また一般、大学合唱団の客演、合唱指導法の講師、コンクールの審査員として合唱音楽の普及にも努めている。第15回藤堂音楽褒賞受賞。

指揮をヘルムート・リリンク、ヴォルフガング・シェーファー、ウベ・グロノスタイの各氏に師事。現在、大阪音楽大学助教授、神戸女学院大学、京都市立芸術大学、同志社大学神学部講師。大阪センチュリー合唱団、びわ湖ホール声楽アンサンブル指揮者、京都バッハ合唱団主宰。

再び、同志社グリークラブとともに音楽をすることになった。グリークラブに「音楽」を求めてゆきたいと思う。「権威」「伝統」「慣習」など、おそらく今まで大切にされてきたどんなものより、何よりもまず、常に最上の「音楽」を求めてゆきたいと考えている。そしてその環境作りに微力であるが尽くしてみたいと思った。

今日はそのスタートラインとして、豊かな音楽性が必要なブリテンの音楽、そしてピアノの船橋さんとの演奏、どのようなステージになるか本当に楽しみである。

指揮者 伊東恵司 (いとう けいし)



1999年、同志社大学を卒業。
在学中はポストモダン芸術論を専攻し、音楽論、映画論、写真論等に造詣を深める。また、同志社グリークラブ第58代学生指揮者として、「向かうところ敵なし・・・」とさえ言われた黄金期を築くとともに、指揮者の(故)福永陽一郎氏より絶大な信頼を受け、ヨーロッパ演奏旅行、東西四連、定期演奏会等で多数の名演を残す。
卒業後、90年より「淀川混声合唱団」の指揮者として活動。93年には「なにわコラリアーズ」を創設。演奏会を始めとし、各種コンクールでも活躍中。(宝塚国際室内合唱コンクール5年連続入賞。関西合唱コンクール3年連続金賞受賞、また今年11月に広島で行われた第52回全日本合唱コンクールにおいては初進出ながら「金賞」を受賞し、大きな反響を呼んだ。
また、母校に勤務する傍ら後輩の指導にもあたり、93年には同志社グリークラブのアメリカ演奏旅行にも同行。ボストン・シンフォニーホールの演奏会で「Missa O Magnum mysterium」を指揮し好評を得る。今年は大阪府合唱祭「高校生合同演奏」での指揮や、京都の大学生を対象にした合唱講習等でも指導を行い、活動の場を広げている。鋭いテキストの読み込みや、繊細な感受性による音楽作りには定評があり、大らかな人柄で学生からの信頼も厚い。
同志社大学学生課(今出川)勤務。

今回、3年連続して同志社グリークラブの定期演奏会に立つことになりました。
私がグリークラブを卒業してからちょうど10年。10年前に福永先生に守られるようにして立っていた舞台が思い出されます。今年は久しぶりにシンフォニーホールを離れました。理由はともあれ、慣例を踏襲しがちな学生合唱団において、活動そのものに対する分析を行った結果を肯定的に評価したいと思っています。合唱のスタイルやスタンス、大学クラブの活動形態が大きく様変わりしようというこの過渡期にあって「同志社グリークラブ」もまた、知恵を出し合って自分たちの活動を切り開いていかないとけない時期にきていると言えるでしょう。幸い減少傾向にあったグリークラブですが、元気な一年生を加えました。今年の夏は久しぶりに50名を越すメンバーと共に同志社校祖「新島襄」ゆかりの地である青森県の風間浦村に出向いてきましたが、大志を抱いて海を渡った青年新島と自分たちを重ね合わせるグリーメンの滲刺とした表情に、「彼らもきっとやってくれる！」という確信を持ちました。同志社グリークラブ100周年まであと5年・・・きっと力強く自分たちの活路を見出し、連綿と続く「歌の魂」を引き継いでくれると思います。
さて、昨年はグスタフソンの難曲を巧みに乗り越えてくれたグリーメンですが、今年は「ミサ曲」を歌いたいというリクエストがありました。迷った挙句に「いずみホール」の特性を生かしたラインベルガーの曲を選んでみました。慣れないオルガンとの合わせや1年生の割合が多く、これまたちょっと大変だったようですが、同志社グリーの音楽の中核とも言える宗教曲に興味を持って取り組んでくれました。愛情を込め、大切に歌ってくれれば・・・と考えております。

ヴォイストレーナー 大久保昭男 (おおくぼ あきお)



1953年東京芸術大学声楽科卒業。矢田部勁吉氏に師事。1953年5月、NHKオーディションに合格。数多くの放送、演奏会に出演。近衛秀麿指揮、青山杉作演出によるオペラ「カルメン」。山田耕筰作曲、本人指揮のオペラ「黒船」(初演)ドヴォルジャーク作曲「ルサルカ」(初演)などにも出演。1959年には、ドイツ・リートおよび日本歌曲による第1回リサイタルを開く。その後、関西学院グリー、同志社グリー、慶應ワグネル、立教大学グリー、明治大学グリー、法政大学アカデミー合唱団をはじめとする大学のトップクラスの合唱団のヴォイストレーナーとして、関東、関西で幅広く活躍、現在に至る。元、東京芸術大学講師。

今年は京都も東京も秋が仲々やって来ず、十一月の末になって、やっと美しい紅葉が見られる様になり、冬も一緒に来た様です。
春に入った一回生も上級生と共に、忙しい学生生活の時間の中から、合唱の勉強のために各自の「貴重な時」を使ってきました。その積み重ねた「時」が今では何ものにも比べることの出来ない大きな素晴らしいものとなって、若者の魂の中に確かに根を下している筈です。
世界的にもレベルの高い合唱演奏を目指して、日夜、たゆまず努力を続けているグリーメンと共に、音楽の勉強が出来る私は幸福に思います。
愚劣なテレビ番組(能無しの芸人達の馬鹿騒ぎなど・・・)の多い最近、何か一つの高いものに向かって進んでいる若者の顔には、力強い美しさを感じます。今後、この若い人達が先頭に立って、堂々と進んで行ってくれることを、私は願ってやみません。

ピアノ 船橋美穂 (ふなはし みほ)



京都市立芸術大学音楽学部ピアノ科卒業。1983年よりアメリカにて、リサイタルやコンクールの伴奏、室内楽で活躍し好評を得る。エール大学大学院音楽科教授シドニー・ハース氏等のもとで伴奏者として研鑽を積み、アンサンブルピアニストとして高い評価を受けた。1990年帰国。NHK交響楽団メンバーとの度重なる共演をはじめ、声楽、器楽リサイタルの伴奏、室内楽等多数の演奏会、CD録音に出演し、そのレパートリーは幅広く多彩である。1997年より屋内外で活躍中の演奏家を迎えて「サウンドブリズム」と題したピアノアンサンブルシリーズを主催している。
椿久美子、元演綏子、岩崎淑、平井丈二郎、ワード・ダヴィニーの各氏に師事。リート伴奏では佐々木成子氏、ライナー・ホフマン氏に師事する。
滋賀県立石山高等学校音楽科、京都文教短期大学非常勤講師。

高校時代に合唱の伴奏を通して友達と気持ちを1つにしてハーモニーをつくる喜びにはまって以来、さまざまな人達と共演してきました。合唱、器楽、声楽等、多くのコンサートを経験してきましたが、男声合唱との共演は、生まれてはじめての出来事で(生きていてよかった!)しかも、伝統ある同志社グリークラブの皆さんなのでとてもやりがいがあり、緊張もしています。素晴らしいブリテンの曲を通して、何か心に響く演奏ができるよう全力を尽くしたいと思います。

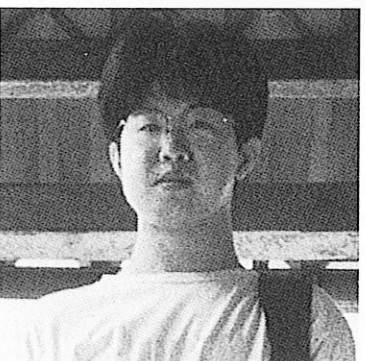
オルガン 平松寿美 (ひらまつ すみ)



同志社女子大学学芸学部音楽学科オルガン専攻卒業。オルガンを鷺淵紹子氏に師事。1993年、第20回オルガン新人演奏会で演奏。卒業後、米国アイオワ州のアイオワ大学へ留学し、オルガンとオルガン教育を学ぶ。オルガンをD.フォルカーツ、C.ストー、D.ディセルホースト、D.ブルック各氏に師事。
渡米中、アイオワシティの教会で専属オルガニストを勤める。
アイオワ大学のクラフプリサイタルホール、クラーフスタジオにてオルガンソロリサイタルを行い評価を得、同大学よりオルガン・フレデリック・ラーン奨学金を授与。1997年、オルガン演奏とオルガン教育、修士号を取得、帰国後、大阪リーガロイヤルホテル、大阪帝国ホテル、京都コンサートホール、宝塚ベガホール、チャペルコンサートなどに出演。奈良、京都、岡山の各教会にてオルガンコンサートを行なう。
平安教会オルガニスト。同志社大学、同志社女子大学、同志社女子高校、同志社国際高校チャペルオルガニスト。日本オルガニスト協会会員。

この度、初めて同志社グリークラブの定期演奏会の舞台で、オルガン伴奏をさせて頂くことになりました。私は、普段オルガンのソロ演奏活動を主にしていますので、今回同志社大学の伝統あるグリークラブの皆様の歌声と共にオルガン演奏できることを、とても嬉しく思います。ソロとは違い、歌声と合わせることは私にとって新鮮で、また、一緒に一つの音楽を作り上げていく喜びが大きい気が致します。お忙しい中ご来聴頂いた皆様、そしてお世話になった方々の心に残る演奏をしたいと思います。

第68代学生指揮者 五十嵐嘉紀 (いがらし よしき)



1977年7月24日和歌山市に生まれる。物心ついた頃より音楽に親しみ、中学、高校を通じて吹奏楽部に所属し、音楽的素養を身につけた。
グリークラブ入部後も、その音楽センスを磨き、学生副指揮者を経て1999年1月に第68代学生指揮者に選任される。今年6月の同関交歓では「アメリカのなつかしいうた」を指揮、その他、6月の第48回東西四大学合唱演奏会、8月の青森演奏旅行、10月の奥伊勢演奏会、11月の第26回関西六大学合唱演奏会等で活躍している。
今年一年間の活動を振り返りますと、常に「音楽の新しい方向性の模索」というスローガンがありました。しばらくの間は人数的にも技術的にも厳しい時がありましたが、いかなる時も前向きな姿勢を決して崩さず前進して参りました。何よりも今年度は20数名の一年生を新しい仲間に加え、以前にも増して活気のある雰囲気の中で練習を積み重ね、またステージに乗ることが出来ました。また、今年は、第4ステージに本山秀毅先生をお迎えし、「今までになかった」新しい同グリスOUNDをご披露できることと思います。どうぞごゆっくりお楽しみ下さい。

「J.G.Rheinberger 男声合唱作品 ～Missa B-Dur op.172 より～」

伊東恵司

演奏にあたって

Joseph, Gabriel von Rheinberger (1839-1901) はリヒテンシュタイン国のVaduzに生まれ、ミュンヘン王立音楽学校に学んだ。生涯に200を越す楽曲を残しているが、ラインベルガーの名声を世界的、歴史的なものにしているのは対位法の権威としてであり、また典礼用の宗教曲、特に優れたオルガン付きのミサ曲によってであると言える。

Sanctusの緊張感を持った上昇音階…、流れる8分の6のBenedictusなどはラインベルガーのミサの特徴であるが、おそらく彼は実際の教会音楽家としてそれぞれの典礼の場面に必要な音楽的特性を熟知しており、さらにはオルガンの書法と声部との完全な融合において「オルガン付きミサ」を完全な芸術的完成の域にまで高めたといえよう。

ひと時ヴァーグナーに傾き、ときに形式的なものが優先することが多いとされているが、このBdurミサにおいては「歌うが如く広がる叙情性…」とも言える彼のもう一つの特徴が現れているのではないかと思える。このミサ曲の中には「Ave Maria」が挿入されており、そのことが大きな特徴でもあるが、いくぶんおだやかで晴れやかな感じの曲全体には教会音楽の持つ「癒し」と様々な表情を持った個別の感情を柔らかくみつめる「マリア的な視線」の統一感というものを感ずる。

今回の演奏にあたっては、Credoを省略した。



昨年に引き続き、個々の強い発声だけではなく「聞き合うこと」「ハーモニーを大切にすること」を中心に練習を進めてきたが、発声的なテクニックが要求されることから、多くの一年生を抱える今年のメンバーには苦労が大きかったものと思う。しかし、キリスト教的な雰囲気や大学のアカデミズムの中に「アトモスフェア」として呼吸出来る…という、合唱をするには絶好の環境を得ている彼らにとって、宗教曲もまた重要なレパートリーとして考えてくれたようである。いい「雰囲気」で演奏することが出来ればと思う。

男声合唱組曲「草野心平の詩から・第三」

「富岡鐵齋の水墨画を彷彿とさせる草野心平の詩」

多田武彦

若いころ、映画監督を志したせいか、私は、作曲する時に選ぶ詩の中に、映像がにじみ出てこないと納得しない。23歳の時に処女作「柳川風俗詩」を書いてから、69歳の今日まで、六十余の合唱組曲を作曲してきたが、これらの詩のすべてには詩人の描いた素晴らしい映像と音楽が汪溢していた。私はこれに寄り添うように曲付けをしたに過ぎない。

これらの詩人の中で、肉太の筆致で描く水墨画のような詩風を靡かせるのが、草野心平先生の詩である。そしてそれは、富岡鐵齋の水墨画を彷彿とさせる。

鐵齋の画風も心平の詩風も「本流においてはその作家ならではの特質を堅持しつつも、個々のうねりの中には、豪胆な筆致から繊細なタッチまでの様々な表現があり、また対象を鋭く直視する部分もあれば、オーバーラップ方式も駆使されている。ここがなんとも謂えず、ぞくぞくするほど素晴らしい。

1956年の組曲「富士山」を初めとして今日まで全国で愛唱されている草野心平先生の詩群を、多くの合唱愛好者は私の曲以上に愛読している。だからこそ「詩人やその継承者の了解も得ないで、作曲の都合上勝手に詩の一部を削除したり改変したりする著作権侵害行為をしでかす作曲家」に対して、草野心平ファンは憤るのである。歌曲を書く以上、厳に慎むべきことだ。

今回同志社グリークラブが取り上げてくれた組曲「草野心平の詩から・第三」は、各曲間に特に脈絡は無いが、心平流の様々な筆致が画面一杯に駆け巡る五つの油彩に、私なりの音楽を添えた。特に第四曲「宇宙線驟雨のなかで」は私の最も好きな詩の一つである。

終わりに、演奏会のご成功と、五年後に来る「同志社グリークラブ創立百周年」に向かったの、益々のご発展を心よりお祈りする。

曲目解説 五十嵐嘉紀

I 原子

広大な宇宙にちりばめられた原子。それは途方もないエネルギーを帯びていて、万物を形成している。色彩感豊かで、壮大なスケールを持った詩である。

II 地球

地上にいる「私」と月から自分自身を眺める「私」。地球という母胎にやさしく包まれている「生」を確認する詩。

III 猛烈な天

自分の命が三千年もの昔より現在まで引き継がれ、今生きていることを知る心平。脈々と受け継がれている命の奇跡をうたっているようにも見える。

IV 宇宙線驟雨のなかで

心平が病床にいたとき、宇宙から降り注ぐエネルギーによって癒された体験をうたっている。眼前に次々と広がる幻想的な描写が美しい。

V 夜の海

太古の昔より、休むことなく波打ってきた海。そこをのし歩くマンモスの姿。その光景を現在において目の当たりにする心平。悠久の時を超えて営み続ける自然の偉大さをうたった賛歌。

コダーイ男声合唱曲集

第68代学生指揮者 五十嵐嘉紀

作曲家 コダーイ・ゾルターンについて

コダーイ・ゾルターンは1882年ハンガリーのケチケメートに生まれた。鉄道員でありヴァイオリンを弾く父と、ピアノをたしなむ母の影響を受け、幼少の頃よりピアノを習った。1900年にブタペスト音楽院に入学し、ハンス・ケスラーの下で学んだ。当時の民族主義的な風潮に開発されたコダーイは、それまでのドイツ風の作風から離れ、国民音楽創造のためには、ハンガリー民謡の研究が必要と考えるようになった。そして1905年から親友バルトーク・ベラと共に民謡の収集を全国各地で行った。1907年以降はブタペスト音楽院の音楽理論と作曲の教授に任ぜられた。

彼はまた、子供や学生のための音楽教育を普及させるために「コダーイ・システム」という独自の音楽教育法を確立した。ハンガリーの人々は皆、この「コダーイ・システム」によって音楽教育を受けてきているのである。またこのシステムは近年我が国でも注目されている。1967年に亡くなるまで、精力的に活動を続け、交響曲、管弦楽曲、合唱曲等様々なジャンルにおいて作品を生み出した。代表作に「ハンガリー詩篇」、楽劇「ハーリー・ヤーノシュ」合唱と管弦楽の「テ・デウム」が挙げられる。

コダーイ音楽の特徴ー高度な和音創意ー

コダーイの和声を決定する要因は、その高度な旋律的創意にある。彼は平行5度の禁則をも無視し、最も自然な音階である5音音階から倍音列音階、全音音階を利用しながら協和音の概念を基に水平的な旋律音をそのまま垂直的な和声音にするという独特の和声を作り上げた。こうして各声部が旋律性に富んだものとなり、元来の西洋音楽とは一味違った響きが鳴るのである。

この手法によりハンガリー民謡は5音音階や同一音節数による旋律の繰り返し、発音からくる独特のリズム等の特徴をもつものとなった。これらの特徴が日本民謡と似ているせいか、我々になつかしさと親しみを感じさせるのである。

曲目解説

Kit Kéne Elvenni（誰と結婚しようか）

セーケイ・ニープダル の視により1934年に作曲された。誰を花嫁にもらおうかといろいろ考えるのだが、結局は独り者で気楽に生きる方がいい、という男の気持ちをうたった快活な歌。

Esti Dal（夕べの歌）

コダーイの合唱作品の中で最も親しまれている作品。国を追われ、疲れ果てた人が、一日の終わりに捧げる祈りの歌。

Karádi Nóták（コラーディ地方の歌）

ハンガリーのコラーディ村800年祭のために作曲された。当地の小さな歌が3つつなぎ合わされており、メロディーのバックにいろいろなかけ声が入る大変威勢のいい歌。居酒屋のシーンに始まり、続いて泥棒コルモシュ・ピシュタートの歌、最後には豚飼いのダンスで締めくくられる。

「The Ballad of LITTLE MUSGRAVE and LADY BARNARD」

「小姓マスグレイヴとバーナード夫人のバラード」

本山秀毅

ベンジャミン・ブリテン作曲

ベンジャミン・ブリテン（1913～1976）は、イギリスの生んだ今世紀における最も重要な作曲家の一人である。イギリスの音楽はルネサンスの時代に合唱音楽を主としてその黄金時代を迎えたが、ヘンリー・パーセルの死後、いわゆる「大作曲家」とよばれる偉大な才能に恵まれてはいなかった。しかしイギリスの人々の生活の中に音楽、とりわけ合唱音楽は欠かすことのできない要素として根付いていた。聖堂の中では伝統的な教会音楽が豊かに響き渡り、日常生活では、素朴で美しい旋律をもつ民謡の数々が人々の生活を潤してきたのである。

ブリテンはパーセル以後の最大の作曲家である。彼はオペラや管弦楽曲などあらゆるジャンルに優れた作品を残しているが、「合唱音楽」が彼の作品の中に占める位置は決して小さくない。彼の作品には「うた」を大切にするイギリスの音楽的風土を反映した作品がある。合唱を扱った作品としては、有名なクリスマスの音楽「キャロルの祭典」をはじめ「祝祭・テ・デウム」「聖セシリア賛歌」等の教会音楽、「戦争レクイエム」「子供の十字軍」などの彼の平和主義者である側面を如実に示した作品などがある。

「小姓マスグレイヴとバーナード夫人のバラード」は、イギリスの作者不詳のバラードをテキストとした世俗曲である。音楽は通作されており、小姓マスグレイヴとバーナード卿夫人のミサでの出会い、恋に落ちる様子、それをバーナード卿に密告するもう一人の小姓、逆上した卿が二人が密会している別荘に向い、決闘でマスグレイヴを殺し、自らの夫人までを殺してしまうという物語が彩り豊かな音楽によって描かれている。

バラードの創作の常で、韻を踏んでいる4行ずつのテキストごとに物語が展開し、音楽もそれにあわせてめまぐるしく変化する。ミサを思わせるのどかなピアノに支えられた最初の部分、2人の出会いを彩る美しい旋律、もうひとりの小姓が密告に向かうスリリングなリズム展開、バーナード卿の怒りをぶつけるような和音、バーナード卿夫人の陶酔の音楽、密会の現場を押さえる場面では行き詰まるような緊張があり、愛する2人を殺害するほかはなかったバーナード卿の嘆きが最後に鳴り響くというように、男声のみを素材とする音楽ながら、素晴らしい構成と色彩を持つ作品である。

物語り自体は悲劇でありながら、作曲のスタンスがどこか客観的で明るく、牧歌的なのが特徴的である。何かしら物語を通して作曲者が語りたかった暗喩があるようでもある。

この作品でもうひとつふれておかねばならない重要な点は、その成立である。ブリテンは1943年、当時ドイツのアイヒシュテットの捕虜収用所収監されていた友人のリチャード・ウッドの依頼によって作曲した。収用所内のフェスティヴァルで演奏するための依頼で、楽譜は1ページごとにマイクロフィルムにされ、手紙の中に入れて送られたとのことである。同じようなエピソードとして日本の捕虜収用所でドイツ人捕虜によってベートーヴェンの「第9」が初演された話は有名だが、このように苛酷な環境にあっても、あるいはあるからこそ、音楽を忘れないヨーロッパ人の気概がこの作品を生んだのだと思うと感慨深い。

個人的な話で恐縮だが、終戦50周年すなわち1995年にアメリカのオレゴン州で開催された「オレゴンパッハフェスティヴァル」に招聘されて、主宰する合唱団とともに数回の演奏会に出演した。その中で、アメリカ、ドイツの合唱団とともに演奏したブリテンの戦争レクイエムが強烈に印象に残っている。これは自身の音楽体験の中で、今に至るまで大きな位置を占めている。

現代の作品で「War」という重い主題に人々の心を集約できるものはそう多くないと思う。「音楽に国境はない」とはよく言われる言葉だが、このときほどそれを強く実感したときはなかった。今日演奏される作品は直接この主題を扱ったものではないにせよ、成立を考えると無関係とはいえない部分があると思う。

今、世紀末を迎えようとしている我々の世紀に、淘汰され尽くしていない多くの作曲家の名前の中で「ブリテン」と言う名はこれから先、長い間にわたって語り継がれていく名前に違いない。

100年たっても新月の心  忘れない。

関西学院グリークラブ100周年記念リサイタル

東京公演：2000年1月23日〔日〕14:15開場 15:00開演 東京オペラシティコンサートホール
大阪公演：2000年1月30日〔日〕14:30開場 15:30開演 フェスティバルホール

チケットなどのお問い合わせは…関西学院グリークラブホール TEL/FAX 0798-52-6471

神戸女学院大学コーラス部第40回定期演奏会

- | | |
|--|--------------------|
| I MISSA | 指揮：越塚香奈子／オルガン：片桐聖子 |
| II 女声合唱曲「島よ」 | 指揮：森 久幸／伴奏：青木里恵 |
| III 企画ステージ「The phantom of the opera」より | 指揮：越塚香奈子／伴奏：赤澤佐智子 |
| IV 女声合唱曲集「空に樹に…」 | 指揮：越塚香奈子／伴奏：西脇恭子 |

2000年2月26日（土）開場17:30 開演18:00
西宮市民会館アミティーホール

〈連絡先〉藤野純子0798-72-7225

祝！本年度全日本合唱コンクール金賞


なにわコリアー
指揮 伊東恵司

豊中アクアホール
2000. 5. 5 (祝)
Open 18:00
Fee 1,000

- 「さわやかにかっこよく」をモットーに
- ジャンルにとらわれず幅広く活動
- ここまで歌ってしまうのか!!

お問い合わせ
堀江06-6906-3790 ●矢野06-6941-1639

Naniwa Choraliers 6th Concert

団員募集中!!

- 入団資格
男性に限る。歌が好きである。
- 練習
第2.4.5土曜日18:00~21:00
- 会場
北野教会（阪急梅田徒歩10分）
淀川善隣館（地下鉄天六駅徒歩15分）
- 会費等
練習参加1回につき¥1,000
現役学生優遇制度あり

団員募集中♪

練習日：第2,4,5日曜（13:00-17:00）
練習場：ミード社会館（阪急十三徒歩7分）
淀川善隣館（阪急天六駅徒歩15分）
お問い合わせ：06-6832-3245（北浦）
BRB00245@nifty.ne.jp(e-mail)

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

歌の好きな方、大歓迎です!!

一緒に



淀川混声合唱団

淀川混声合唱団第12回演奏会
2000年7月15日（土）いずみホール

客演指揮：松下 耕

指揮：伊東恵司
曲目：「子猫物語」（松下 耕）
「夏は来ぬ～日本の抒情歌集より」
北欧の合唱曲より・他

阪神淡路大震災5周年祈念

みやこフィルハーモニック チャリティーコンサート

J. ブラームス
I. 大学祝典序曲 作品80
II. ドイツレクイエム 作品45

ソプラノ：坂口茉莉 バリトン：木村俊光
指揮：楠 敏也

2000年1月16日（日） 17:00開場 18:00開演
京都コンサートホール 大ホール
S5,000円 A3,000円 B2,000円

前売り場所：チケットぴあ 06-6363-9999 コンサートホール 075-771-3231

コンサートの収益金は震災遺児のために「あしなが育英会」におくられます。
お問い合わせ先：TEL&FAX 075-581-2460 [事務局 藤井]

見参!!

第49回東西四大学合唱演奏会

同志社単独演奏 本山秀毅
合同演奏 須賀敬一

2000年7月2日（日）ザ・シンフォニーホール

早 慶 同 関

お問い合わせ：同志社グリークラブBOX075-251-3185（呼）
関西学院グリークラブ0798-52-6471

FKC

You'll never walk alone

福永陽一郎メモリアルコンサート

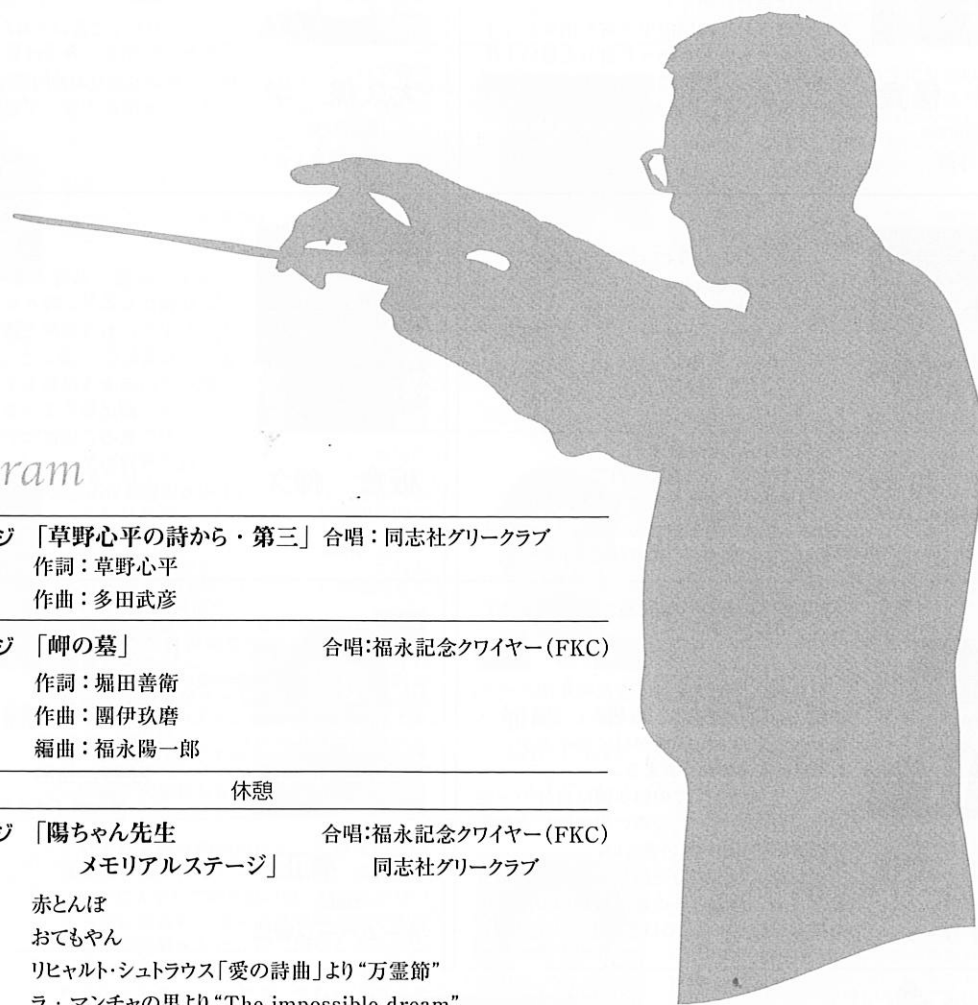
平成12年2月11日(建国記念日)

14時30分開場 15時開演

シルクホール(京都産業会館)

四条烏丸西入る

1,500円(全席自由席)



プログラム

第1ステージ 「草野心平の詩から・第三」 合唱:同志社グリークラブ

作詞:草野心平

作曲:多田武彦

第2ステージ 「岬の墓」

合唱:福永記念クワイヤー(FKC)

作詞:堀田善衛

作曲:團伊玖磨

編曲:福永陽一郎

休憩

第3ステージ 「陽ちゃん先生

合唱:福永記念クワイヤー(FKC)

メモリアルステージ」

同志社グリークラブ

赤とんぼ

おてもやん

リヒャルト・シュトラウス「愛の詩曲」より「万霊節」

ラ・マンチャの男より「The impossible dream」

Sometimes I feel like a motherless child 他

主催:福永陽一郎記念実行委員会 後援:同志社グリークラブOB会 お問い合わせ先:大西育夫 Tel.075-332-7875 Fax.075-332-1126

Video, Recording, Design

私達スタッフは、皆様とのコミュニケーションを大切に実績ある技術で
今宵のコンサートの録音を担当しております。

Sound Studio Oka

CD制作
1枚から!

ビデオ撮影 及び CD・カセットテープ・

ビデオテープ・パンフレット・ポスター製作、

大判カラープリンター出力も承ります。

株式会社 サウンドスタジオOKA

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町70番地

ホームページアドレス:

<http://www.okagc.co.jp/>

TEL (075) 712-5710 / FAX (075) 721-0835

— TOKYO POINT — TEL (03) 5430-7370

When
the slightest
difference
is impotent

——— 比べてください、違いがわかるはずです

SAIKODO Printing Co., Ltd.
西湖堂印刷株式会社 ● 京都市下京区高倉通四条下ル ● TEL.075-351-9127 FAX.075-361-4096

'99 GLEE LIFEの1年間

2月20日 フェアウェルコンサート
 3月8～13日 春合宿
 3月20～21日 卒業式参列
 4月1～7日 入学式参列・新歓活動
 4月8日 留学生歓迎パーティー出演
 4月17日 対面式
 4月25日 同志社大学工学部教授吉川進三先生
 ご退官記念パーティー
 5月3日 関西六大学対抗運動会
 5月16日 新歓イベント（京都地区）
 5月29日 大阪城南ロータリークラブ式典出演
 5月30日 京都合唱祭
 6月19日 第17回同関交歓演奏会
 6月27日 第48回東西四大学合唱演奏会
 7月1日 埼玉県春日部市立豊春中学校クラブ見学会
 7月12日 同志社女子大学メサイア研究会クラブ見学会
 7月17日 祇園祭山鉦巡行（太子山）参加
 8月3～5日 青森演奏旅行（風間浦村）
 8月23日 関西六大学対抗ソフトボール大会
 9月5～10日 夏合宿
 9月24日 新大阪ワシントンプラザホテル
 ディナーショー出演
 9月25日 春学期卒業式・学位授与式参列
 9月28日 パート対抗ソフトボール大会
 10月1日 秋学期入学式（留学生別科・アメリカ研究科）
 10月2日 全同志社メサイア演奏会結団式
 10月12日 大阪府堺市立三原台中学校文化鑑賞会出演
 10月24日 三重・奥伊勢演奏会
 10月29日 ABC放送『ナイト in ナイト』出演
 11月3日 第26回関西六大学合唱演奏会
 11月9日 本山先生を囲む会
 11月23日 第51回茨木市市民音楽会出演
 11月28日 同志社創立124周年記念礼拝参列
 12月11日 滋賀・甲西町立図書館開館10周年記念
 ライブラリー・コンサート出演
 12月17日 第95回同志社グリークラブ定期演奏会
 12月24日 第35回全同志社メサイア演奏会



本山先生を囲む会

同志社女子大学栄光館
 大津ユース
 同志社女子大学栄光館
 同志社大学田辺キャンパス
 京都ガーデンパレス
 同志社大学神学館礼拝堂
 烏丸京都ホテル
 豊中市立庄内温水プールグラウンド
 木津川付近
 都ホテル大阪
 京都会場
 新大阪メルパルクホール
 昭和女子大学人見記念講堂
 同志社中学校礼拝堂
 同志社大学田辺新別館
 京都市内
 北通り総合文化センターウイング
 淀川河川敷
 長野県信濃平
 新大阪ワシントンプラザホテル
 同志社中学校礼拝堂
 京都御所内グラウンド
 同志社大学神学館礼拝堂
 同志社大学学生会館ホール
 大阪府堺市立三原台中学校
 大台中学校
 N. G. K.
 フェスティバルホール
 赤垣屋
 同志社女子大学栄光館
 滋賀県甲西町立図書館
 いずみホール
 京都コンサートホール



日本教育旅行（株）

〒600-8155 京都市下京区下珠数屋町通東洞院東入

心と体を鍛えよう！！

合宿・ゼミ旅行。スキー旅行・
 一泊コンパ・海外旅行などなど...
 何でもご相談下さい。

0120-040566

075-351-0405



旬の京野菜提供店

祇園平八は
 鍋料理で知られていますが、
 お寿司、
 天ぷら
 松花堂弁当、そして
 会席料理も、
 ご用意して
 お待ち申し上げます。

1階	天ぷらコーナー
2階	テーブル席とお座敷
3階	和室
4階	舞台付き広間



車椅子用エレベーター
 身障者トイレ完備

同志社グリークラブ

名誉顧問 遠藤 彰

顧問 岸 基史

ヴォイス トレーナー 大久保昭男

幹事長 西岡 淳
副幹事長 澤田定一良
内政 板倉 伸久
外政 内田 和孝
野中 耕
赤澤 昌樹
小野寺直人
有間 英和
山田 聡
ステージ 加藤 明
渡辺 哲平

会計 阪本 大輔
小松原浩司
畠中 清志
演奏旅行 西川 佳安
島本 英年
O B 担当 大久保 学
島本 英年
佐久間 亮
澤田定一良
赤澤 昌樹
佐久間 亮
小野寺直人

文化団体連盟運営委員
全同志社メサイア実行委員

学生指揮者 五十嵐嘉紀
学生副指揮者 白石 法之
Top Tenor Part Leader 堀江 元治
林 隆宏
Second Tenor Part Leader 竹之内達也
渡辺 哲平
Baritone Part Leader 五十嵐嘉紀
本田 絢
Bass Part Leader 弓山 達也
白石 法之

TOP TENOR

堀江 元治 (法4・同志社香里)
松本 祐輔 (商4・青雲)
西川 佳安 (法4・守山)
西岡 淳 (法4・筑紫)
阪本 大輔 (商4・清教学園)
林 隆宏 (法3・新居浜西)

薦田 智明 (商2・川之江)
村上伊佐夫 (工2・熊本マリスト学園)
山田 聡 (工2・清風)
久岡 義明 (文1・九州国際大学付属)
伊藤 稔 (商1・一宮西)
城代 泰臣 (文1・西大和)

水谷 智一 (文1・近畿大学付属豊岡)
奥貫 壮史 (神1・立川)
下西 賢治 (経1・福知山)
杉浦彦太郎 (文1・東京学館)
橋 昌宏 (法1・須磨東)
山形 賢次 (工1・清風)

SECOND TENOR

加藤 明 (商4・山形南)
小松原浩司 (工4・大安寺)
野中 耕 (経4・四日市南)
竹之内達也 (法4・筑紫丘)
澤田定一良 (文3・清風)

島本 英年 (経2・同志社)
渡辺 哲平 (商2・阪南大学)
雨宮 靖紀 (経1・同志社香里)
坊向 敏和 (工1・春日丘)
川本 大志 (経1・洛南)

木村 祐介 (神1・米子東)
森 亮介 (工1・大分東明)
西尾 健 (経1・同志社)
坂井 隆郎 (商1・金津)
佐藤 大洋 (経1・同志社)

BARITONE

五十嵐嘉紀 (商4・開智)
大科 優貴 (法4・北大和)
大久保 学 (法4・北大和)
内田 和孝 (経4・緑山)
赤澤 昌樹 (法3・岸和田)
本田 絢 (商3・東稜)

福田 一登 (文2・畝傍)
畠中 清志 (文1・仙台第一)
小野寺直人 (法2・仙台南)
加藤 優貴 (文1・畝傍)
増田 智洋 (経1・津)
松岡 佳孝 (文1・北野)

水井 啓太 (法1・大聖寺)
中川 明仁 (文1・枚方津田)
竹内 貴彦 (工1・清風)
田中 雄祐 (法1・白鷗)
徳地 隆人 (法1・奈良学園)
山本 傑 (法1・倉吉東)

BASS

板倉 伸久 (商4・八鹿)
菅 有正 (文4・札幌北)
弓山 達也 (文4・丹原)
白石 法之 (法3・大手前)

有間 英和 (経2・倉吉西)
佐久間 亮 (経2・磐田南)
瀬尾 篤司 (経2・高松西)
明穂 友隆 (工1・倉吉西)

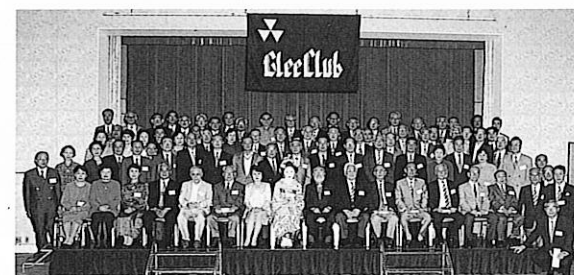
淵本 友隆 (商1・国際情報)
松上純一郎 (文1・春日丘)
松本 崇 (商1・帝塚山)
山岡 洋平 (工1・同志社)

第95回同志社グリークラブ定期演奏会OB協賛芳名録

今回の定期演奏会の開催にあたり、下記の先輩方の協賛を頂きました。
誌上ではございますが、この場にて厚く御礼申し上げます。

昭和12年卒	藤井 清	41年卒	木下 利彦	56年卒	楠木 潔	辰己 昇
27年卒	藤戸 武		小室 泰司	58年卒	小田垣正美	田中 祐之
28年卒	斎藤 勲	42年卒	栗山 昭男	59年卒	鋒山 琢磨	土井 敬幸
29年卒	吉田庄之助		澤井 浩一		溝端 利文	栃木 義博
31年卒	橘 守	43年卒	中根 敏雄	61年卒	尾池 智治	野村 忠司
	野村 忠	48年卒	島橋 宗久	62年卒	梅村 雅彦	古川 偉久
34年卒	市島 章三		平井 雅則	63年卒	梅田 隆司	安池 倫成
	森田 秀夫	52年卒	岡田 哲	平成1年卒	雨宮 信	2年卒 新井 正
35年卒	田中 忠男		小林 茂		内田 勲	3年卒 川口 晃司
	松村 時男		高谷 博次		大森 直哉	黒沼 貴博
36年卒	村田 由高		山下 裕司		金森 勝徳	竹内 正
38年卒	田村 康浩	54年卒	大西 育夫		木寅 潤一	4年卒 岸間 昭一
39年卒	岩木 六馬		樋上 雅人		瀬戸 正己	5年卒 林 克己
	後藤 健夫		矢ヶ崎一之		高瀬 毅	6年卒 谷本 啓

*尚、〆切の関係上、掲載できなかった先輩方もおられます。



また、昭和34年卒団の先輩方より卒業40周年を記念して現役グリークラブにステレオテレビ、ビデオデッキ等を田辺BOXにご寄贈頂きました。有難く御礼申し上げます。

今後の演奏会情報

第35回全同志社メサイア演奏会

1999年12月24日 (金)
京都コンサートホール大ホール

第95回同志社グリークラブ
卒団生のための フェアウェルコンサート

2000年2月19日 (土)
同志社大学学生会館

第49回東西四大学合唱演奏会

2000年7月2日 (日)
ザ・シンフォニーホール

第96回同志社グリークラブ定期演奏会

2000年12月16日 (土)
京都コンサートホール大ホール

第35回 全同志社メサイア演奏会

1999. 12. 24 (金) 京都コンサートホール大ホール

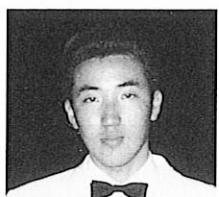
開場 17:00 開演 18:00

入場料 1,500円 (当日座席券交換)

指揮：佐藤功太郎

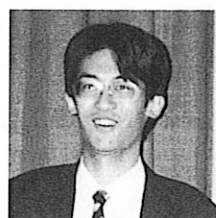
主催：全同志社メサイア演奏会実行委員会
(お問い合わせ) 同志社交響楽団BOX 075-251-3185(呼)

編集後記



赤澤 昌樹

パンフのほぼ全て一人でワープロを打ったと思うと気が遠のく。練習したくてもマネージに追われ出来ない日があり、葛藤が毎日続いた。しかし、数々の苦勞も今日、全て報われるだろう。支えてくれた内田さんをはじめとする先輩方、同回生、後輩達、皆に感謝したい。…是非とも本日の演奏を聴いてほしい人が数人いる。来ているだろうか？



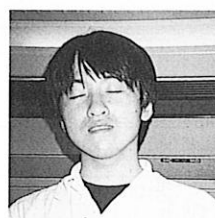
小野寺直人

内田さん、赤澤さんすご過ぎます。私も、もっと精進致します。お世話になった皆さんに感謝いたします。



有間 英和

「編集後記に何を書こうか…」これに最も悩まされます。



山田 聡

外政として初めて関わる定演。ここまで来れたのも心強い先輩方、信頼できる後輩、そして同回生のおかけです。小野寺、有間、これからも頑張ろうな！

本日はお忙しい中を御来場下さいまして、誠にありがとうございます。最後になりましたが、このパンフレット製作にあたりまして、快く原稿をご執筆下さいました諸先生方、広告並びに、協賛を頂きました皆様、西湖堂印刷の吉村社長、その他この日のためにご尽力下さいました全ての方々、そして何より本日も来場頂きました全ての皆様に厚く御礼申し上げます。

1999年師走 同志社グリークラブ一同

第95回同志社グリークラブ定期演奏会パンフレット

1999年12月17日発行

発行：同志社グリークラブ／協賛：大和銀行合唱団／印刷：西湖堂印刷株式会社

2000年2月19日(土) 開演16:00



第95回卒業生のための
フェアウェルコンサート
同志社大学学生会館ホール

in京都

2000年、同志社創立125周年を機に実現!!

第96回同志社グリークラブ定期演奏会

2000年12月16日(土)

京都コンサートホール 大ホール

MIC group consistently contributing to Health Care, Culture and Ecology



健やかな日々を送るためにかかせない『医療』

人と人との交流を深める『文化』

住み良い空間を創造するための『環境』

● ミックは情報発信基地をめざし、ホームページを開設中です。 ●

<http://www.mic.co.jp>

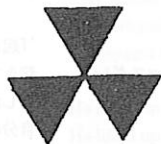
医療・文化・環境への貢献



〒160-0022

東京都新宿区新宿1-9-2 日南貿易ビル

TEL 03-3350-1661 / FAX 03-3356-0848



DOSHISHA COLLEGE SONG

One purpose Doshisha, thy name
Doth signify one lofty aim.
To train thy sons in heart and hand
To live for God and native land.
Dear Alma Mater sons of thine
Shall be as branches to the vine;
Tho' thro' the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide.

〈大意〉

同志社とは一つの目的の下に集ったものという意味である。一つの目的とは神と祖国とに仕えて生きた良心を手腕に運用する人物の育成である。母校よ、そなたの息子たちは、葡萄の木をつる枝をはうが如く、世界何処の地に散ろうとも、胸の底に、母校の教を常に忘れることはない。

Still broader than our land of birth
We've learned the oneness of our earth
Still higher than self-love we find
The love and service of mankind
Dear Alma Mater sons of thine
Would strive to live the life divine.
That we may with increasing years have stood
For God, For Doshisha and Brotherhood

祖国という城をこえて、地球は一であることをわれわれは学んだ。自己愛をこえて人類を愛し、これに奉仕することの尊さを学んだ。

母校よ、そなたの息子たちは聖き生涯を生きんとし、年へると共に神と同志社と人類愛とに奉仕するであろう。

第1 ステージ

Messe fur Mannerchor

Kyrie

Kyrie, eleison.
Christe, eleison.
Kyrie, eleison.

Gloria

Gloria in excelsis Deo.
Et in terra pax hominibus bonas Voluntatis.
Laudamus te.
Benedicimus te.
Adoramus te.
Glorificamus te.
Gratias agimus tibi propter magnam gloriam tuam.
Domine Deus, Rex caelestis, Deus Pater omnipotens.
Domine Fili unigenite, Jesu Christe.
Domine Deus, Agnus Dei, Filius Patris.
Qui tollis peccata mundi, miserere nobis.
Qui tollis peccata mundi, suscipe deprecationem nostram.
Qui sedes ad dexteram Patris, miserere nobis.
Quoniam tu solus sanctus.
Tu solus Dominus.
Tu solus Altissimus, Jesu Christe.
Cum Sancto Spiritu in gloria Dei Patris.
Amen.

Ave Maria

Ave Maria gratia plena
Dominus tecum
Benedicta tu in mulieribus
Et benedictus fructus ventris tui Jesus
Sancta Maria Mater Dei
Ora pro nobis peccato ribus
Nunc et in hora motris nostrae
Amen

Sanctus

Sanctus, Sanctus, Sanctus Dominus Deus Sabaoth.
Pleni sunt caeli et terra gloria tua.
Osanna in excelsis.

Benedictus

Benedictus qui venit in nomine Domini.
Osanna in excelsis.

Agnus Dei

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi, miserere nobis.
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi, dona nobis pacem.

あわれみの讃歌

主よ、あわれみたまえ。
キリストよ、あわれみたまえ。
主よ、あわれみたまえ。

栄光の讃歌

天のいと高きところには、神に栄光。
地には、善意の人に平和あれ。
われら主をほめ。
主をたたえ。
主をおがみ。
主をあがめ。
主の大なる栄光のゆえ、主に感謝したてまつる。
神なる主、天の王、全能の父なる神よ。
主なるおんひとり子、イエズス・キリストよ。
神なる主、神の小羊、父のみ子よ。
世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。
世の罪を除きたもう主よ、われらの願いをききいれたまえ。
父の右に座したもう主よ、われらをあわれみたまえ。
主のみ聖なり。
主のみ王なり。
主のみいと高し、イエズス・キリストよ。
聖霊と共に、父なる神の栄光のうちに。
アーメン。

聖母の讃歌

われは恩寵に満てるおん身マリアを賛えます。
主はおん身とともにいます。
おん身は女にあって祝福され
おん身の分身イエスも祝福され
神の母、聖なるマリアよ
罪人なるわれらのために
いまも臨終の時も祈り給え
アーメン

感謝の讃歌

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主。
主の栄光は天地にみつ。
天のいと高きところにホザンナ。

祝福の讃歌

ほむべきかな、主の名によりて来たる者。
天のいと高きところにホザンナ。

平和の讃歌

神の子羊、世の罪を除きたもう主よ、われらをあわれみたまえ。
神の子羊、世の罪を除きたもう主よ、われらに平安を与えたまえ。

第3ステージ

『コダーイ男声合唱曲集』

I Kit Kene Elevenni

(誰をもらおうか)

お線さんをもらいに出かけなければならない
でも問題がある 誰と結婚しようか?

もし若い乙女をもらったら
糸紡ぎも機械も知らないだろう
おやお困ったもんだ
お金を出して服を買わねばならないとは

もし年増女をもらったら
彼女はいつも機嫌が悪いだろう
彼女の怒鳴り散らす声は
大嵐のようだろう

もし貧しい娘を嫁に申し込んだなら
彼女になにをしてやったらいいだろう
一人の乞食から二人の乞食を
どうして作らなきゃいけないのだろう

もし金持ちの娘をもらえばこういうことになる
「あんたのお金で生きてるんじゃない
根性なし!」
やれやれ一体どうしたらいいんだろう
ずっと一人身でいようか
それとも結婚しようか?

ひとつの望みは残されている
僕にとっては これからずっと
独身がいいだろう
僕にとってはいいだろう
独身でいるほうが

II Esti Dal

(夕べの歌)

森のかたわら 夜が訪れた
私はコートを頭の下にして
手を合わせ 神に祈った

神が私に棲み家を与えたもうたことを
私はもう充分放浪しました
さまよい 隠れ続け
見知らぬ国での生活を充分味わいました

神よ安らかな夜をお与え下さい
天使をお使わしてください
私の夢に力をお与え下さい
神よ 安らかな夜をお与え下さい

III Karadi Notak

(コラーディ地方の歌)

おかみさん 私の大事な人
あいさつがわりにワインを一杯おくれ

でも水をまぜないでくれ
気分が悪いからね
おかみさん 私の大事な人
鶏を食べたいんだが

かわいいアンドリシュ
まだできてないよ
すぐ焼いてあげるからね
もうすぐ食べられるよ
ゆっくりお食べなさい

食べよう飲もう おおいに楽しもう
みんな警官仲間じゃないか

コルモシュ・ビシュタートは
シモントルニャーで捕らえられた

彼はすぐにお偉いさんの前に
連れて行かれた

その中には知事や領主もいた
彼に尋ねた
お前はいったい何頭の馬を
盗んだんだ イシュトバーンよ

馬を盗みました
五頭も六頭も七頭も
それでも旦那方には
ちっとも痛くないでしょう

できれば五十頭でも六十頭でも
七十頭でも盗みたかったんです

それでも旦那方には
どうってことないでしょう

コルモシュ・ビシュタートは
牢屋に連れて行かれた

それを彼の恋人が
窓から眺めていた

見ないでくれ 見ないでくれ
僕の情けない姿を

僕はみんなお前のために
我慢しているんだ

私は旦那方にうやうやしく
お願いいたします

こんなつまらない悪者を
許して下さい 旦那方のために

山羊を追って働きます
私を自由にしてください
三十三頭の黒い馬を
追って働きます
その馬でもって
旦那の畑を耕します
灰色の馬の世話もします
七つの県にもないような
立派な馬です

豚飼いはその風変わりな歩き方で
それ(豚飼い)だとわかる
ステッチのついたサンダルとザックの紐でわか
る
豚は茂みに隠れて耳だけ見えている
豚飼いは茂みの中で小娘と何かいいことしてる

水車に豆を持っていく

豆が多過ぎた
私はそれが純粋な小麦だと思った

隠れろ 隠れろ

僕の服の下にうまく隠れろ
(水車番が豆を持ってくるから)
私は水車番にこう言った

他の人に絶対楽らないでくれ

でも誰かが話してしまっ

このことを娘の母親に

第2ステージ

男声合唱組曲

『草野心平の詩から・第二』

I, 原子

インディゴ・ガラスの。
はるかばるかの。
はるかのはるかのはての涯のなはての。
アンドロメダ。
冷る星雲。
黒光りのする闇の中にぼつんとする中心の核。眼には見えすしかも
正確に形成される人間の核。途方もない夢の結晶。
核は一つの星。
精力は星の。
雲の渦巻き。
それが天体のそのやうに。やがては凄烈な美が生れる。
冷たく硬く青くつき刺す。その光。
億萬あつまり。
乱反射する虹の燦爛。

II, 地球

青いガラスのフラスコについた。
見えないこみのわたくしを。
月から眺めるわたくしです。
居酒屋の。
あふらのぬけた一日酔いの。
起てない朝の鉛色。
月から見るとメロンにも見え。
網の目のやうに光る血管が流れてゐるが。
たしかに光の道々が。
縦横無尽に流れてゐるが。
すすばれた天井をいま。
眺めているのはわたくしです。
地球は方々すすばります。
わたしはしばらく沈みます。
すきま風になでてもらって。
布団の中に。

III, 猛烈な天

血染めの天。
激しい放射にやられながら。
飛びあがるやうに自分はここまで歩いてきました。
帰るまへにもう一度この猛烈な天を見ておきます。
飯台無頼であるにしても眼玉につながらる三千年。
その突如にこそ自分はたちます。
半分なきながら立つてゐます。
ざらつき注ぐ。
血染めの天。
三千年の突如の。
なんたるはけいししすけさでさう。

IV, 宇宙線驟雨の中で

七色の微塵なつて。
雨がふる。
屋根をとほし。
寝てゐる私のからだをとほし。
日向雨よりもつと美しい雨がふる。
右の庭には八ツ手と苔と大竹数と。
左の庭には藤棚と葛をかぶつた車井戸と。
栗色の天井。
嘉永の草薺。
ひぐらしが鳴く。
さうして私はまた眼をつぶる。
虹色の雨が。
煙の様のやうに私のからだをとほつてゆく。
痛みが消えて。
右肺のなかに青いシグナルがほのかにとほる。
ともうつつかの健康が。
野菜車のやうに路切を渡る。
私は眼をひらく。
栗色の天井がまたはじまる。

V, 夜の海

遠い深い重たい底から。
暗い見えない蓮の匂い過去から。
づつづつ わー
づつづん づわー
ぐんぐん うわー
黒い海はとろろきつづつ。
鉛色のたてがみをしぶかせて波はくずれ。
しめつばい渚に覆爛つてくる。
鉛の波は向うに生れ。
また向うにも生れ。
そして墨汁色に吞まれてしまふ。
けれどもまた現われて押しよせてくる。
づつづつ わー
づつづん づわー
ぐんぐん うわー
こんな夜更けの今頃だろう。
マンモスたちが歩いていったのは。
かびたアンコ餅のような匂いはなち。
みんな並んで。
ずるるぬるり。
大きな饅頭の足跡をのこし。
腹は満ち足り。
幸福そのもののやうに歩いていた。
そして向うの一点黒い闇のなかに。
もっかきもつかり消えていった。
九十九里浜の茫漠のなかに。
波は鉛色の唐草模様のレースになつて匂いあがるが。
砂をなめずりまたサザアツと黒い海にもどつてゆく。
微夜してとろろく。
大きな海の中にもどつてゆく。
づつづつ わー
づつづん づわー
ぐんぐん うわー

第4 ステージ

The Ballad of LITTLE MUSGRAVE and LADY BARNARD

As it fell on one holyday,
As many be in the year,
When young men and maids together did go,
Their matins and mass to hear,

Little Musgrave came to the church door;
The priest was at private mass;
But he had more mind of the fair women
Than he had of Our Lady's grace.

The one of them was clad in green,
Another was clad in pall,
And then came in my Lord Barnard's wife,
The fairest amongst them all.

Quoth she, 'I've loved thee, Little Musgrave,
Full long and many a day'
'So have I loved you, my fair ladye,
Yet never a word durst I say'

'But I have a bower at Buckdesfordberry,
Full daintily it is dight,
If thou'lt wend thither, thou Little Musgrave,
Thou'st lig in my arms all night.'

With that beheard a little tiny page,
By his lady's coach as he ran,
Says, 'Although I am my lady's foot-page,
Yet I am Lord Barnard's man!'

Then he's cast off his hose
and cast off his shoon,
Set down his feet and ran,
And where the bridges were broken down
He bent his bow and swam.

'Awake! awake thou Lord Barnard,
As thou art a man of life!
Little Musgrave is at Buckdesfordberry
Along with thine own wedded wife.'
He called up his merry men all;
'Come saddle me my steed;
This night must I to Buckdesfordberry,
Along with thine own wedded wife.'

He called up his merry men all;
'Come saddle me my steed;
This night must I to Buckdesfordberry,
For I never had greater need.'

But some they whistled, and some they sang,
And some they thus could say,
Whenever Lord Barnard's horn it blew,
'Away Musgrave, away!'

'Methinks I hear the threstle-cock,
Methinks I hear the jay;
Methinks I hear Lord Barnard's horn,
'Away Musgrave, away!'

'Lie still thou Little Musgrave,
And huggle me from the cold;
'Tis nothing but a shepherd's boy
A driving his sheep to the fold.'

By this, Lord Barnard come to his door,
And lighted a stone upon;
And he's pull'd out three silver keys,
And open'd the doors each one.

He lifted up the coverlet
He lifted up the sheet:

'Arise, thou Little Musgrave,
And put thy clothes on;
It shall ne'er be said in my country
I've killed a naked man.

I have two swords in one scabbard,
They are both sharp and clear;
Take you the best, and I the worst,
We'll end the matter here.'
The first stroke Little Musgrave struck
He hurt Lord Barnard sore;
The next stroke that Lord Barnard struck,
Little Musgrave ne'er struck more.

'Woe worth you my merry men all
You were ne'er born for my good!
Why did you not offer to stay my hand,
When you saw me wax so wood?

For I've slain also the fairest ladye
That ever wore woman's weed,
Soe I have slain the fairest ladye
That ever did woman's deed.'

'A grave, a grave,' Lord Barnard cried,
To put these lovers in!
But lay my lady on the upper hand,
For she comes of the nobler kin.'

【対訳】

その日は年に数多くあるような
祭日であったので
若い男女が連れ立って
朝の折りとミサに出かけた

リトル マスグレイヴが教会に入ると
牧師が内々にミサを開いていた
しかしマスグレイヴは聖母マリアの恩寵よりも
美しい女性達に心惹かれていた

その一人は緑の服を着ており
もう一人は外套を着ていた
そしてそこへ バーナード卿の奥方がいらっしゃった
みななかで最も美しいお方

夫人が言った「ずっとあなたのことを思っておりました リトル マスグレイヴ
ほんとうに長い間 一日に幾度も」
「私もです 愛しいお方
しかし そのようなこと お口にはなりません」

「いいえ バクルスフォードベリに私の別荘があります
とてもきれいな飾りの別荘が
もしそこへきてくださったなら リトル マスグレイヴ
一晩中 私の腕の中で思うままに休めますわ」

これ聞いていたちびの従者が
夫人の馬車に駆け寄って
言うには「私は奥方様の使い走りですが
それでもバーナード卿の家来です!」

そして靴下を脱ぎ捨て 靴を脱ぎ捨て
はだしになってはしった
橋が落ちていれば
腕の力で泳いで渡った

「お目覚め下さい! お目覚め下さい! バーナード卿
大変でございます!
リトル マスグレイヴがバクルスフォードベリで
卿の奥方様と一緒におります」

卿は家来をすべて呼び集め
「わしの馬に鞍をつけよ
今夜バクルスフォードベリへ行かねばならぬ
大変なことが起こったのだ」

しかし バーナード卿の角笛がなるといつも
家来のなかには 口笛を吹いたり 歌ったりする者がいた
さらにはこんな事を言う者もいた
「逃げる マスグレイヴ 逃げる」

「ツグミの声が聞こえるようなきがする
カケスの声が聞こえるようなきがする
バーナード卿の角笛が聞こえるようなきがする
『逃げる マスグレイヴ 逃げる!』と」

「まだここにいる リトル マスグレイヴ
私を抱いて寒さから守ってちょうだい
あの声はなんでもないわ 牧童が
羊を囲いに追う声よ」

このとき バーナード卿は扉の前に立ち
敷石をてらしていた
3つの銀の鍵を取り出し
ドアをひとつひとつ開けていった

ベッドのカバーをめくり
シーツを めくった

「起きろ マスグレイヴ
起きて服を着ろ
わしが裸の男を殺したなどと
自分の国で言われたくないからな

鞘に剣が2本ある
どちらも鋭くて良く堪えである
お前が良い方を取れ わしは残った方を取る
この場で決着をつけようぞ」

リトル マスグレイヴが先に斬りつけ
バーナード卿に深手を負わせた
バーナード卿が斬り返した
そしてリトル マスグレイヴは再び剣を返すことが出来なかった

「卿呼 何ということだ お前達よ
お前達はわしのために生まれてきたわけではなかったということか!
わしが怒りで我を忘れているのを見ながら
どうして止めようとしてくれなかったのだ

わしは いつも女性らしく装っていた
最愛の人までも殺めてしまったのだぞ
わしは いつも女性らしく振る舞っていた
最愛の人までも殺めてしまったのだぞ」

「墓だ 墓だ」バーナード卿は叫んだ
「この恋人たちを葬ってやるのだ!
でもわしの妻は一段上の方においてやってくれ
妻は高貴な一族の出だからな」

アンケート

本日はお忙しい中、私共の定期演奏会にご来場くださりまして誠にありがとうございます。本日の演奏会についてご意見、ご感想がございましたら、お手数ではございますが、下記の欄にご記入の上、お帰りの際にアンケート箱にお入れください。今後の参考とさせていただきます。

性別(男・女) 年齢(才) 職業/学校名()

合唱経験(無・有 年) OB(M・T・S・H 卒団)

所属団体()

○ 本日の演奏会のチケットをどのようにして入手されましたか。

(我が団のBOXに電話で・チケットぴあ・生協・招待状・情宣・団員から・当日券で)

(その他)

○ 本日の演奏会について

●第一ステージ

●第三ステージ

●第二ステージ

●第四ステージ

○ ステージマナー、進行について

○ パンフレット、チラシについて

○ その他、ご意見、ご感想、ご希望がございましたらお書きください。

◎よろしければ、お名前、ご連絡先をお教えてください。今後の演奏会の情報をお知らせ致します。

お名前 _____ TEL _____

Mail _____

ご住所 〒 _____

ご協力ありがとうございました。

第95回同志社グリークラブ定期演奏会OB協賛芳名録 (追加分)

昭和26年卒 福永嘉彦

昭和42年卒 渋谷和彦

昭和28年卒 正木泰雄

昭和43年卒 深木善治郎

昭和31年卒 渋谷昭彦

昭和45年卒 東 英達

昭和34年卒 芳崎英治

昭和54年卒 山田浩二

昭和35年卒 石井正一郎

昭和56年卒 今村幸彦

昭和36年卒 寸田 達

昭和61年卒 松本裕士

山田英二

平成1年卒 松本千尋

昭和37年卒 三宅健司

平成2年卒 栗田陽一

昭和38年卒 林田慎也

平成3年卒 内田敏文

昭和39年卒 畑中宣彦

平成8年卒 佐藤利宏

山中信興

園田 誠

昭和40年卒 大熊政次

平成9年卒 水野武司

昭和41年卒 影田武道

大変多くの方々に協賛いただき、心より感謝申し上げます。

同志社グリークラブ